

この度は「WP12」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。当説明書をご覧頂き、末長くご愛用頂けますようお願い致します。

## ■ DATA SHEET



AC	100v 50/60Hz
出力	120ws ~ 3.7ws
光量	F16+0.5 (ISO-100/1m ダイレクト)
調光範囲	FULL ~ 1/32 無段階調光 (5EV)
モデリング	5W LED モデリングランプ (デイライト色)
クーリングファン	無
充電サウンド	完了音 (ピッ) ON / OFF
内蔵フリースレーブ	ON/Pre1/Pre2/OFF
充電時間	約 0.3 ~ 3.5 秒 (50Hz)、約 0.3 ~ 3.0 秒 (60Hz)
色温度	5500 ~ 5700K
閃光時間	1/1500 ~ 1/800s
ヒューズ	5 A
サイズ	150×120×150mm
重量	750g

## ■ お届け内容 :

本体、シンクロコード

## ■ 各部名称

- 1 ダボ受け
- 2 ヒューズボックス
- 3 電源ケーブル
- 4 電源スイッチ
- 5 LED モデリングランプ切替スイッチ (ON / OFF)
- 6 チャージ音切替スイッチ (ON / OFF)
- 7 調光ノブ (FULL ~ 1/32)
- 8 内蔵スレーブセンサー
- 9 テスト発光ボタン
- 10 内蔵スレーブ切替スイッチ (ON / Pre2 / Pre1 / OFF)
- 11 シンクロコードソケットφ3.5mm
- 12 ソフトボックス用シャフト差込穴



## ■ 使用方法

- ・ストロボのダボ受け (1) をライトスタンドなどのオスタボに取り付けて固定し、電源ケーブルをコンセントに差し込む。
- ・電源スイッチ (4) が赤点灯したらスタンバイ状態。この状態で電源スイッチ (4) を押すと、赤点灯から緑点灯に変化し充電を開始する。テスト発光ボタン (9) が緑点灯したら充電完了し、ストロボ発光が可能となる。
- ・調光時、ノブ (7) で光量を上げると不足分を再び充電し、テスト発光ボタン (9) が緑点灯になると同時に充電完了する。光量を僅かに下げると、一旦消灯したテスト発光ボタン (9) がまもなく緑点灯になりストロボ発光可能となる。光量を大きく下げると自動的に1度発光して設定分の電力を充電し直す。このため手動で「捨て発光」の必要はない。
- ・内蔵スレーブの表示は、緑点灯「ON」、赤点灯「プリ発光1回スキップ」、黄点灯「プリ発光2回スキップ」、消灯「OFF」。(プリ発光とは、カメラ内蔵ストロボもしくはクリップオンストロボにおける TTL や赤目軽減機能などの予備発光のこと)
- ・電源が入った状態で放置すると、約6分30秒 (西日本 60Hz エリア) ~ 8分 (東日本 50Hz エリア) で電源スイッチ (4) が赤点灯に変わりスタンバイ状態となり、パワーセーブモードに切り替わる。この時、同期したカメラのシャッターを切るか、ストロボのいずれかのボタン (4)(5)(6)(9)(10) を押すと撮影可能状態に復帰する。
- ・使用後は電源スイッチ (4) を押して、赤点灯に変わったのを確認してから電源ケーブルをコンセントから抜き、発光部が十分に冷めたことを確認してから収納する。

## ■ トラブルシューティング

・電源ケーブル(3)をコンセントと繋いでも電源スイッチ(4)が赤点灯しない場合は、ヒューズ切れの可能性があります。ヒューズボックス(2)を点検のうえ、新しいヒューズに交換してください。

・内蔵スレーブが他のストロボに反応しづらい場合、スレーブセンサーが十分に光を拾えない状態にある可能性があります。スレーブセンサーが他のストロボの光を拾いやすいよう、レフ板など白か銀の反射物をスレーブセンサー側に置いてください。また、スレーブセンサーにハロゲンランプ、LED、太陽光などの強い定常光が当たっていると、他のストロボに反応しなくなる場合があります。その際は、強い定常光がスレーブセンサーに当たらないように遮ってください。

・発光管が消耗すると、フル発光は可能でも低光量が発光できなくなってきました。その際は修理依頼して頂くことで、発光管の交換修理(¥6,600- 往復送料別)を承ります。

詳しくは弊社ホームページ「修理 / 補償」のページをご参照ください。

<https://www.prokizai.com/view/page/service>

## ■ 注意事項

- ・本機を分解、改造することは危険ですのでお止めください。
- ・フラッシュチューブ（発光管）およびLEDモデリングランプ発光部は高温になりますので、火傷にご注意ください。  
また、素手で触ったり汚したりすると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・過度な連続発光はお止めください。故障の原因となります。
- ・使用しない場合は電源ケーブルを抜いてください。
- ・保証規定をご一読ください。

株式会社 **プロ機材ドットコム**

<https://www.prokizai.com/>